

(4-1) 生涯学習課(旧文化課)所管事業

1. 文化財総務費	69
2. 指定文化財管理	70
3. 埋蔵文化財分布調査	71
4. 民間開発に伴う緊急発掘調査事業	72
5. 文化財普及啓発事業	73
6. デジタル資料館事業	74
7. 重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業	75
8. 文化財保存修理事業	76
9. 文化財施設管理事業	77
10. 中林土地地区画整理事業に伴う発掘調査	78
11. 西部中央土地地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査	79
12. 北国街道にぎわい創出プロジェクト(旧文化課分)	80
13. 喜多家住宅施設管理事業	81
14. 文化振興総務費	82
15. 市美術展	83
16. 椿まつり事業	84
17. 文化会館管理	85
18. 芸術鑑賞事業	86
19. 情報文化振興財団	87
20. 椿サミット交流事業	88

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財総務費				所管	部	教育部	
							課	生涯学習課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第190条 野々市市文化財保護条例14条			事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が文化財関係団体・市民に		事業の目的	文化財関係団体の活動促進			事業開始	**
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 富樫氏頌徳会の活動助成 文化財の調査・指定 		令和3年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 富樫氏頌徳会の活動助成 文化財の調査 			事業終了	**	年度
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	市指定無形文化財の件数（かっこ内数値は当該年度に増加する件数）			件	4	1(0)	1(0)	1(0)
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算	
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	48			
		一般財源	(千円)	370	473	535			
		事業費計	(千円)	370	473	583			
年度計画	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度				
	今後3箇年の展開		→	→	→				
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 富樫氏頌徳会の活動助成 文化財等の調査・指定 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 富樫氏頌徳会の活動助成 文化財等の調査・指定 	<ul style="list-style-type: none"> 文化財保護審議会の開催 富樫氏頌徳会の活動助成 文化財等の調査・指定 				
1次評価									
1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）			理由	市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。特に無形民俗文化財の調査については継続して行い、文化財指定を目指したい。		
	C	C							
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市内に残る文化財の保存及び活用を図るため、文化財の調査・指定、文化財保護審議会の開催、歴史関係団体への助成を行っていく。特に無形民俗文化財の調査については継続して行い、文化財指定を目指したい。						

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		指定文化財管理			所管	部	教育部		
						課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用			区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用				ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	野々市市文化財保護条例第8条、第13条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	指定文化財の保存・管理とその活用				
事業の内容	指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、芝刈り、除草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を図る。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行う。		令和3年度活動実績	指定文化財のうち、史跡の清掃、樹木の剪定、芝刈り、除草剤散布、殺虫剤散布を行い、管理の万全を図った。 市指定文化財水毛生家住宅の管理助成を行った。					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	管理・助成する市指定文化財数		件	—	8	6	6	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算	
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	3,230	2,111	2,036			
		事業費計	(千円)	3,230	2,111	2,036			

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現状のまま維持	現状のまま維持	現状のまま維持

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。今後も継続して適切に指定文化財の管理を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市は所有する指定文化財の保存・管理の責務がある。今後も継続して適切に指定文化財の管理を行っていく。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		埋蔵文化財分布調査				所管	部	教育部	
							課	生涯学習課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93条、第99条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に		事業の目的	開発事業に係る埋蔵文化財の取扱について適正化を図る上で、埋蔵文化財包蔵地をより高精度に把握するため。				
事業の内容	小型掘削機による試掘調査を実施し、埋蔵文化財の有無を確認する。		令和3年度活動実績	民間開発に伴う試掘調査 13件					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	数値指標の設定になじまない。			-	-	-	-	-
事業のコスト	事業費	区分			令和2年度	令和3年度	令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	640	838	649			
事業費計	(千円)	640	838	649					

実施計画

年度計画	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開		→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査	オペレーター付での試掘調査

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	市街化が進む野々市市においては、今後も開発に先立つ試掘調査に対応していく。埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な試掘調査を実施する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		埋蔵文化財の確実な保護のため、埋蔵文化財包蔵地の範囲を適宜見直し、適切な試掘調査を実施する。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		民間開発に伴う緊急発掘調査事業				所管	部	教育部	
						課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第93条、第99条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が開発事業者に		事業の目的	突発的な開発事業に先立って埋蔵文化財発掘調査を実施し、事業の円滑な進行に資するとともに、郷土の歴史を明らかにする。				
事業の内容	開発によって緊急な発掘調査に対応するものである。 その規模によって、年度内に対応する場合と、開発者と協議し、調査を翌年度とするものがある。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。		令和3年度活動実績	調査実績なし					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	発掘調査面積（予定）		㎡	-	1,540	700	700	
		発掘調査面積（実績）		-	-	153	0	-	
事業の コスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算	
		国庫支出金	(千円)	0	0	0	0	0	
		県支出金	(千円)	0	0	0	0	0	
		地方債	(千円)	0	0	0	0	0	
		その他	(千円)	664	0	0	14,919		
		一般財源	(千円)	0	0	0	0		
		事業費計	(千円)	664	0	0	14,919		

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。	突発的な民間開発に伴う緊急発掘調査に対応する。 内容：現地調査、出土品整理、報告書刊行。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 突発的な民間開発に伴う発掘調査に対して最善の処置をとり、事業の円滑な進行を行いつつ、市内埋蔵文化財の保護に努める。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		突発的な民間開発に伴う発掘調査に対して最善の処置をとり、事業の円滑な進行を行いつつ、市内埋蔵文化財の保護に努める。	

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財普及啓発事業				所管	部	教育部	
						課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法 第4条					
	事業の目的 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	公共の財産である文化財について、様々なイベントを通して周知を図り、地域の歴史に対する理解を深める。				
事業の内容	土器作りや勾玉作り等を当時の技法で製作体験する。 市内に残る歴史資料や、発掘調査で得た出土品などをふるさと歴史館、郷土資料館等で展示・公開する。 専門家を招いて市内の文化財に関する講演会を開催する。		令和3年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> ・夏休み古代体験2021の実施・石川中央都市圏 考古資料展「古墳時代編」の開催及び探訪会の実施 ・郷土資料館企画展「野々市繁昌記」の開催及び解説講座の実施 ・ふるさと歴史講演会「加賀守護富樫氏と野々市」の開催 ・田尻ジツタ遺跡、末松廃寺跡発掘調査現地説明会 					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	普及啓発事業参加者数		人	5,000	1,694	666	3,000	
		文化財説明看板設置数 () は当該年度の設置数		基	55	58(2)	59(1)	59(0)	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算	
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	40	54	60			
		一般財源	(千円)	803	321	364			
事業費計	(千円)	843	375	424					

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会 市広報や市ホームページを活用した普及啓発	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会 市広報や市ホームページを活用した普及啓発	古代体験（歴史館） 企画展（歴史館・郷土資料館） 有識者による歴史講演会 市広報や市ホームページを活用した普及啓発

1 次評価

1 次評価	前年度 1 次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	市民に文化財を広く啓発するため、各種企画展やイベントを継続して行うとともに、市広報や市ホームページを活用し、イベント開催や文化財説明看板設置の周知を行う。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		市民に文化財を広く啓発するため、各種企画展やイベントを継続して行うとともに、市広報や市ホームページを活用し、イベント開催や文化財説明看板設置の周知を行う。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		デジタル資料館事業				所管	部	教育部	
							課	生涯学習課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし			事業の開始・終了年度		
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	電子データ化した野々市市の埋蔵文化財・民俗資料・歴史資料等を、市のホームページ上に開設するデジタル資料館において広く一般公開する。				
事業の内容	市のホームページにデジタル資料館を開設し、市が作成した文化財関係の電子データを分野別に順次紹介していくものである。		令和3年度活動実績	・広報等でデジタル資料館の周知活動を行った。 ・保存修理終了後の重文「御経塚遺跡出土品」写真をデジタル資料館に追加					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	デジタル資料館webページへのアクセス数		人/年	7,000	4,417	4,802	5,000	
		(デジタル資料館紹介ページへのアクセス数)		人/年	-	178	177	300	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	0	0	0			
		事業費計	(千円)	0	0	0			

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。	市内文化財等のデジタルデータ化、およびデジタル資料館での掲載。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	デジタル資料館のコンテンツを拡充していくとともに、デジタル資料館のさらなる周知を目指す。
	B	B			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		デジタル資料館のコンテンツを拡充していくとともに、デジタル資料館のさらなる周知を目指す。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		重要文化財御経塚遺跡出土品保存修理事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法31条						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行い、郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。					
事業の内容	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の4,219点について、展示及び保存・管理の万全を期すため、収蔵整理・展示作業を実施した。また、保存修理事業として、土器・土製品542点のうち257点の破損防止のため詳細な復元作業、骨角器23点の強化処理を文化庁の指導をもとに順次行う。		令和3年度活動実績	土器13点について詳細復元を実施						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	重要文化財指定の土器・土製品・骨角器保存修理完了点数。うち()は当該年度の修理点数			点	280	179 (13)	192 (13)	200 (8)	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算				
		国庫支出金	(千円)	2,900	2,000	2,000				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	2,954	2,007	2,122				
		事業費計	(千円)	5,854	4,077	4,122				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	指定品の収蔵展示作業と、土器9点の詳細復元作業を実施。	指定品の収蔵展示作業と、土器11点、土製品1点の詳細復元作業を実施。	指定品の収蔵展示作業と、土器9点、土製品2点の詳細復元作業を実施。

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存修理を文化庁の指導を受けながら実施し、保存修理の完了した土器・土製品については、ふるさと歴史館において展示公開を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		重要文化財石川県御経塚遺跡出土品の保存管理について万全を期し、貴重な文化遺産の展示公開を行い、市民の郷土に対する誇りと文化財愛護精神を高める。また、修理が終了した土器・土製品を外部に貸し出すことによって御経塚遺跡をアピールしていく。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財保存修理事業				所管	部	教育部	
						課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 2 ののいちの歴史再発見				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	文化財保護法第113・115・116条				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	老朽化が進む国指定史跡の再整備の実施は、市民に文化財の魅力の再発見を促すとともに、文化遺産による野々市ブランドの確立と市内外に誇れるまちづくりを目指すものである。				
事業の内容	末松廃寺跡は、指定地内の発掘調査を行って、史跡の保存整備を実施する。御経塚遺跡については、末松廃寺跡の再整備後に計画を検討する。これらの事業については、有識者による委員会によって方針を策定し実行する。		令和3年度活動実績	発掘調査を実施（金堂南西44㎡） 現地見学会の実施（来場者約60名） 野々市市遺跡調査指導委員会の開催（2回）					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	末松廃寺跡 発掘調査、再整備の進捗		%	100	68	71	74	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	2,908	2,000	1,728			
		県支出金	(千円)	636	1,000	638			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	0	0			
		一般財源	(千円)	2,362	988	1,126			
事業費計		(千円)	5,906	3,988	3,492				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	発掘調査を実施する（金堂・講堂）	発掘調査を実施する（金堂・講堂）	発掘調査報告書作成

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	発掘調査による「女子像が線刻された土製品」の発見などにより、史跡の新たな資料が得られている。今後有識者による委員会及び文化庁・県の指導を仰ぎながら再整備につながる情報を得るための発掘調査を実施し、調査の進捗に合わせて適宜事業計画を見直しながら推進する。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		発掘調査による「女子像が線刻された土製品」の発見などにより、史跡の新たな資料が得られている。今後有識者による委員会及び文化庁・県の指導を仰ぎながら再整備につながる情報を得るための発掘調査を実施し、調査の進捗に合わせて適宜事業計画を見直しながら推進する。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化財施設管理事業				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第4条 野々市市郷土資料館条例第3条 野々市市ふるさと歴史館条例第4条						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	郷土資料館とふるさと歴史館を適切に管理・運営し、市内の歴史や文化財に関する資料を展示することで、歴史に対する理解を深め、住民に生涯学習の機会を提供する。					
	事業の内容	郷土資料館とふるさと歴史館を管理・運営し、市内の歴史や文化財に関する資料を展示する。市民及び市外の人へ野々市市の文化を発信する。		令和3年度活動実績	ふるさと歴史館の管理・運営 郷土資料館の管理・運営					
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度		
	成果指標	来館者数(郷土資料館)		人	—	1,841	2,880	4,000		
		来館者数(ふるさと歴史館)		人	—	1,613	2,244	4,000		
事業の コスト	事業 費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算		
		財源 内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0			
			県支出金	(千円)	0	0	0			
			地方債	(千円)	0	0	0			
			その他	(千円)	0	0	0			
			一般財源	(千円)	10,871	10,947	21,409			
			事業費計	(千円)	10,871	10,947	21,409			

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営	郷土資料館・ふるさと歴史館の管理・運営

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	引き続き、適切な管理運営を行っていく。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		ふるさと歴史館については、引き続き、適切な管理運営を行い、郷土資料館については、北国街道まちづくり基本計画に基づいたにぎわい創出拠点施設としての活用方針を関係課と検討していく。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		中林土地区画整理事業に伴う発掘調査				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	野々市市中林土地区画整理事業	根拠法令	文化財保護法93条・99条						
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	中林土地区画整理地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進捗に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。					
事業の内容	中林土地区画整理事業地区内に分布する末松遺跡・上林インシガネ遺跡の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理、報告書刊行である。		令和3年度活動実績	【上林インシガネ遺跡】【末松遺跡】 現地調査 現地調査 ・区画道路 ・都市計画道路 ・面積716㎡ ・面積755㎡ 【出土品整理作業】 ・令和2年度・3年度調査分						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	発掘調査面積（予定）			㎡	30,870	2,810	1,900	3,800	
		発掘調査面積（実績）			㎡	-	2,630	1,471	-	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	30,954	29,036	37,741				
		一般財源	(千円)	8,500	6,696	33,593				
		事業費計	(千円)	39,454	35,732	71,334				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現地調査 出土品整理	現地調査 出土品整理 報告書刊行	現地調査 出土品整理 報告書刊行

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	中林土地区画整理地区内に所在する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進捗に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	C	C			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		中林土地区画整理地区内に所在する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進捗に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		西部中央土地区画整理事業に係る埋蔵文化財発掘調査				所管	部	教育部		
						課	生涯学習課 (旧文化課)			
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	野々市市西部中央土地区画整理事業		根拠法令	文化財保護法93条・99条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	西部中央土地区画整地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、事業の円滑な進捗に資するとともに、貴重な埋蔵文化財を的確に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。					
事業の内容	西部中央土地区画整地区内に分布する田尻ナワシロ遺跡・田尻ジッタ遺跡・蓮花寺アカグロ遺跡の発掘調査を実施する。内容は、現地調査、出土品整理、報告書刊行である。		令和3年度活動実績	埋蔵文化財発掘調査 現地調査 田尻ジッタ遺跡 2,449㎡ 出土品整理						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	発掘調査面積（予定）			㎡	9,260	2,400	2,334	4,884	
		発掘調査面積（実績）			㎡	—	2,400	2,449	—	
事業のコスト	事業内訳	区分			令和2年度	令和3年度	令和4年度予算			
		国庫支出金	(千円)	0	0	0				
		県支出金	(千円)	0	0	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	6,519	16,270	29,995				
		一般財源	(千円)	6,521	16,267	29,996				
		事業費計	(千円)	13,040	32,537	59,991				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	→	→	→
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	現地調査 出土品整理	出土品整理	出土品整理 報告書作成

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由 西部中央土地区画整地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、区画整理事業の円滑な進捗に資するとともに貴重な埋蔵文化財を適切に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。
	C	C		
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		西部中央土地区画整地区内に分布する遺跡の発掘調査を実施し、区画整理事業の円滑な進捗に資するとともに貴重な埋蔵文化財を適切に記録保存し、郷土の歴史を明らかにする。	

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		北国街道にぎわい創出プロジェクト（旧文化課分）				所管	部	教育部		
							課	生涯学習課 （旧文化課）		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					補助事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	なし					
	事業の対象 （誰が・誰に）	野々市市が旧北国街道周辺エリアに		事業の目的	歴史的・文化的な地域資源が集積する野々市中央地区ににぎわいを創出する。					
事業の内容	歴史的・文化的な地域資源が集積する旧北国街道ににぎわいを創出するため、拠点施設の整備やイベントの開催等を通じて、ヒトづくり・モノづくり・コトづくりを推進していく。 また、喜多家住宅の管理・運営は、民間事業者への委託を目指す。		令和3年度活動実績	北国街道まちづくり基本計画の策定 重要文化財喜多家住宅保存活用計画の策定 喜多家で酒造していた日本酒「狸々」製造						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	民間事業者による文化財施設の管理・運営の進捗			%	100	40	60	70	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	3,770	3,478	0				
		県支出金	(千円)	700	650	0				
		地方債	(千円)	0	0	0				
		その他	(千円)	0	0	0				
		一般財源	(千円)	12,305	10,937	0				
		事業費計	(千円)	16,775	15,065	0				
年度計画	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	今後3箇年の展開		→	→	→					
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		文化財施設の魅力を発信できる活用策の検討 旧北国街道の歴史的街並みの保全	文化財施設の魅力を発信できる活用策の検討 旧北国街道の歴史的街並みの保全	文化財施設の魅力を発信できる活用策の検討 旧北国街道の歴史的街並みの保全					
1次評価										
1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）			理由	北国街道の活用方策について検討を行い、北国街道まちづくり基本計画及び喜多家住宅保存活用計画を策定し、事業を進める足がかりを作った。また、喜多家で製造していた日本酒「狸々」を復活、製造を行った。今後は旧北国街道沿いの文化財施設や周辺公共施設の有効活用について、関係課と連携・検討し、北国街道エリアに合った実施体制を構築していく。			
	A	C								
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		旧北国街道沿いの文化財施設や周辺公共施設の有効活用について、関係課と連携・検討し、北国街道エリアに合った実施体制を構築していく。							

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		喜多家住宅施設管理事業				所管	部	教育部	
							課	生涯学習課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 5 文化の継承と創造と担い手の育成 1 文化財と文化資産の活用				区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(3) 伝統行事・文化財の保護と活用					ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化財保護法第4条 野々市市重要文化財喜多家住宅条例第3条					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	令和2年10月に公有化した重要文化財喜多家住宅を適切に管理・運営し、喜多家がかつて行っていた酒造に関する資料等も展示することで、歴史に対する理解を深めてもらう。				
事業の内容	重要文化財喜多家住宅を適切に管理・運営し、喜多家がかつて行っていた酒造に関する資料等も展示することで、市民及び市外の人へ野々市市の文化・歴史を発信する。		令和3年度活動実績	重要文化財喜多家住宅の管理・運営 重要文化財を市民に周知するための事業の委託					
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	来館者数			人	—	655	2,277	4,000
事業のコスト	事業費	区分			令和2年度	令和3年度	令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	0			
		県支出金	(千円)	0	0	0			
		地方債	(千円)	0	0	0			
		その他	(千円)	0	198	400			
		一般財源	(千円)	0	5,020	4,860			
		事業費計	(千円)	0	5,218	5,260			
年度計画	区分			令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	今後3箇年の展開			→	→	→			
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)			喜多家住宅の管理・運営	喜多家住宅の管理・運営	喜多家住宅の管理・運営			
1次評価									
1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)			理由	適切な管理運営を行っていく。		
	—	C							
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		計画的な施設修繕を行うなど適切な維持・管理運営を行う。						

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化振興総務費			所管	部	地域政策部	
						課	地域振興課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	08 協働のネットワークづくり				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が市文化協会、ジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体、一般市民に			事業の目的	「芸術文化の香り高いまち」づくりの推進のため、市文化協会及びその加盟団体、ジュニア文化・芸術サークルの活動を支援し、自主的な運営を促す。また、じょんから踊りの普及促進や郷土芸能伝承保存を進める。		
事業の内容	市文化協会及びジュニア文化・芸術サークル、郷土芸能伝承団体への活動助成 じょんから踊り講習会の開催 文化活動団体への助成			令和3年度活動実績	<ul style="list-style-type: none"> 市文化協会への助成及び事務局の体制づくり ジュニア文化・芸術サークルへの助成(4団体) 郷土芸能伝承団体への活動助成(24団体) 文化活動団体への活動助成(6団体) なお、新型コロナウイルス感染症の拡大により、じょんから踊り講習会は中止とした。			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	踊り講習会受講者数		人	280	中止	中止	—
		市文化協会加盟団体数		団体	18	17	17	—
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—		
		県支出金	(千円)	0	0	—		
		地方債	(千円)	0	0	—		
		その他	(千円)	0	2,400	—		
		一般財源	(千円)	4,668	4,532	—		
		事業費計	(千円)	4,668	6,932	—		

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		市美術展			所管	部	地域政策部	
					課	地域振興課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし	事業の開始・終了年度			
	事業の目的	野々市市が市民（市内に在住・通勤・通学している人、市内の絵画教室・サークルに通っている人）に			事業開始	昭和57	年度	
事業の内容	美術作品の募集、審査、展示会の開催、優秀作品受賞者への表彰式を行う。			令和3年度活動実績	事業終了	**	年度	
事業の目的	市民の美術活動の振興とその鑑賞の機会を設け、芸術文化の高揚を図る。			新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業中止とした。				
事業の概要	事業の内容		令和3年度活動実績		新型コロナウイルス感染症拡大のため、事業中止とした。			
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	美術展入場者数		人	2,000	中止	中止	—
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—		
		県支出金	(千円)	0	0	—		
		地方債	(千円)	0	0	—		
		その他	(千円)	0	0	—		
		一般財源	(千円)	35	75	—		
		事業費計	(千円)	35	75	—		

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		椿まつり事業			所管	部	地域政策部	
						課	地域振興課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	該当なし	事業の開始・終了年度			
	事業の目的 (誰が・誰に)	野々市市・市民が市民に	事業の目的	「郷土を愛し緑豊かな住みよいまちづくり」を推進するため、市指定花木「椿」を介して各種行事を開催し、文化的な潤いのある地域環境と「賑わい」を創出する。				
事業の内容	(フォルテ) アート・オブ・ツバキ、椿オリジナルステージ、折り紙コーナー、お茶席、花と緑の市、特産物市、つばき食堂など (のいち椿館) 椿館ガイドツアーの実施など (教育センター) 囲碁・将棋コーナー (協賛企画) ボランティアガイドののいち里まち倶楽部による市内ツアー 運営及びそれら全般に関わる実行委員会等の開催		令和3年度活動実績	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため規模を縮小して開催。実行委員会など会議の開催(全10回)、近隣事業所・関係者・広報機関へのまつりPR、椿作品の募集・展示、市内特産物の物販等				
事業の指標	種別	指標の名称	単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	椿まつり来場者数	人	7,000	2,520	2,603	—	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—		
		県支出金	(千円)	0	0	—		
		地方債	(千円)	0	0	—		
		その他	(千円)	0	0	—		
		一般財源	(千円)	4,285	3,461	—		
		事業費計	(千円)	4,285	3,461	—		

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		文化会館管理				所管	部	地域政策部		
							課	地域振興課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	該当なし		根拠法令	該当なし					
	事業の目的 (誰が・誰に)	野々市市が市民に		事業の目的	芸術・文化の中心施設として浸透している文化会館フォルテの維持管理					
事業の内容	・文化会館及び駐車場の借地用地に対する借地料の支払い ・文化会館の維持管理		令和3年度活動実績	・借地料の支払い ・設備の改修						
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。			—	—	—	—	—	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—				
		県支出金	(千円)	0	0	—				
		地方債	(千円)	0	0	—				
		その他	(千円)	372	372	—				
		一般財源	(千円)	8,022	18,221	—				
		事業費計	(千円)	8,394	18,593	—				
年度計画	区分		令和5年度	令和6年度	令和7年度					
	今後3箇年の展開		—	—	—					
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)		地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管					

実施計画

1 次評価

1 次評価	前年度 1 次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了 (今年度中) F 統合 (今年度中) G 廃止 (今年度中)	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		芸術鑑賞事業				所管	部	地域政策部		
							課	地域振興課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画		根拠法令	該当なし					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が、市内中学生と、市内小学校5年生に			事業の目的	子どもたちに優れた舞台芸術鑑賞の機会を提供し、鑑賞能力の向上と豊かな情操の涵養を図る。				
	事業の内容	1. スクールシアター 2. オーケストラ鑑賞教室：オーケストラ・アンサンブル金沢 3. 古典芸能鑑賞教室：市能楽愛好会、雅瑜峰会（市音楽文化協会所属）、市民謡協会による公演			令和3年度活動実績	スクールシアター（市内小学校5年生）開催日12月14日オーケストラ鑑賞（布水中1・2年生）開催日1月13日 古典芸能鑑賞（野々市中学校1年生）開催日11月15日 令和2年度新型コロナウイルス感染症拡大のため、中止。				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	数値指標の設定になじまない。			—	—	—	—	—	
事業のコスト	事業費	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—				
		県支出金	(千円)	0	0	—				
		地方債	(千円)	0	0	—				
		その他	(千円)	0	0	—				
		一般財源	(千円)	0	1,041	—				
		事業費計	(千円)	0	1,041	—				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		情報文化振興財団			所管	部	地域政策部	
						課	地域振興課 (旧文化課)	
事業の概要	総合計画 該当施策	5 みんながキャンパスライフを楽しむまち【生涯学習・教育】 4 文化・スポーツ活動の充実 1 市民文化・市民芸術の活性化			区分	自治事務		
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進				ソフト事業		
	行政改革 推進項目	00 該当なし				単独事業		
	実施根拠となる 分野別計画	教育振興基本計画	根拠法令	文化芸術振興基本法 劇場、音楽堂等の活性化に関する法律				
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が（公財）野々市市情報文化振興財団・市民に		事業の目的	市民の教養向上と芸術文化の振興を図り、豊かで潤いのあるマルチメディア都市の形成と住民福祉の向上に寄与する。			
事業の内容	指定管理者である（公財）野々市市情報文化振興財団が実施する文化会館フォルテの管理委託と施設運営及び財団の自主事業に対する補助		令和3年度活動実績	・施設の管理委託 ・施設運営と財団が行う自主事業に対する補助				
事業の指標	種別	指標の名称		単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	成果指標	文化会館フォルテ来場者数		人	160,000	25,000	40,000	—
		情報交流館カメラ利用者数		人	75,000	24,000	67,000	—
事業の コスト	事業 内訳	区分		令和2年度	令和3年度	令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—		
		県支出金	(千円)	0	0	—		
		地方債	(千円)	0	0	—		
		その他	(千円)	0	0	—		
		一般財源	(千円)	92,513	67,729	—		
		事業費計	(千円)	92,513	67,729	—		

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了（今年度中） F 統合（今年度中） G 廃止（今年度中）	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

令和 4 年度 教育委員会事務の点検・評価表（令和 3 年度実施事業分）

事業概要

事務又は事業の名称		椿サミット交流事業				所管	部	地域政策部		
							課	地域振興課 (旧文化課)		
事業の概要	総合計画 該当施策	0 該当なし				区分	自治事務			
	教育振興基本 計画施策名	基本目標3 生涯学習の推進 基本的施策(2) 文化・芸術活動の推進					ハード・ソフト事業			
	行政改革 推進項目	00 該当なし					単独事業			
						事業の開始・終了年度				
						事業開始	平成29	年度		
						事業終了	**	年度		
	実施根拠となる 分野別計画	なし		根拠法令	なし					
	事業の対象 (誰が・誰に)	野々市市が全国椿サミット協議会加入自治体・全国の椿愛好家に			事業の目的	椿を通じた交流を図り、野々市ブランドの発信を行う				
	事業の内容	日本ツバキ協会及び国際ツバキ協会加入 全国椿サミットへの参加 椿関係団体への活動補助			令和3年度活動実績	第32回全国椿サミット大船渡大会への参加、 日本ツバキ協会野々市支部に対する大船渡大会参加費補助 ※大船渡大会が新型コロナウイルスの影響で中止になり活動実績なし				
事業の指標	種別	指標の名称			単位	最終目標値	令和2年度	令和3年度	令和4年度	
	成果指標	全国椿サミット大会への参加			回	1	2	中止	—	
事業のコスト	事業費 財源内訳	区分		令和2年度		令和3年度		令和4年度予算		
		国庫支出金	(千円)	0	0	—				
		県支出金	(千円)	0	0	—				
		地方債	(千円)	0	0	—				
		その他	(千円)	0	0	—				
		一般財源	(千円)	13	13	—				
		事業費計	(千円)	13	13	—				

実施計画

年度計画	区分	令和5年度	令和6年度	令和7年度
	今後3箇年の展開	—	—	—
	実施計画 (今後3箇年の活動内容)	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管	地域政策部地域振興課へ移管

1次評価

1次評価	前年度 1次評価	次年度の方 向性	A 拡大・重点化 B 改善 C 継続 D 縮小 E 終了・完了(今年度中) F 統合(今年度中) G 廃止(今年度中)	理由	令和4年度から地域政策部地域振興課へ移管したことにより、教育委員会所管外となったため、評価実施しない。
	C	—			
改善点	今後の改善事項 (ニーズ・課題等)		—		

・(4-2) 学識経験者からの意見

文化財のなかでも、郷土の歴史や伝統行事などについては、郷土愛をはぐくむためにも子どもから大人まで市民にわかりやすく発信することが求められています。文化財企画展・歴史講演会・発掘調査現地説明会などの開催や文化財説明板の設置による文化財普及啓発が充実してきたことは、高く評価します。その中で、デジタル資料館などのデジタルコンテンツを活用した事業については、小中学校の調べ学習が容易となっていることから、学校への積極的な案内や、ホームページなどを活用し、分かりやすく事業概要を周知することも今後は必要だと考えます。

また、重要文化財喜多家住宅保存活用計画が策定されたことにより、喜多家住宅の活用の充実及び旧北国街道周辺の文化財の魅力を関係各課の連携により広く発信できるよう期待します。

・(4-3) 今後の方針

- ① 文化財企画展や古代体験学習、歴史講演会、学校での出前講座など、郷土の歴史や伝統行事の知識を深める普及啓発事業の更なる充実に努めます。
- ② 史跡末松廃寺跡の再整備に向けた発掘調査と整備方針の検討を進め、市民に対し調査状況等の情報提供に努めます。
- ③ 子どもたちにも郷土の歴史や文化に興味・関心を持たせるため、わかりやすい教材作りを検討します。
- ④ 富樫氏の漫画本「八曜の剣」を広く周知することに努め、ふるさと教育の充実と富樫氏の発信を図ります。
- ⑤ 地域に残る各文化財をわかりやすく解説した説明板や文化財マップ等を利用して市民や観光客への周知に努めます。
- ⑥ 喜多家住宅・郷土資料館・ふるさと歴史館の活用の推進を図ります。
- ⑦ 国指定重要文化財である喜多家住宅の計画的な保存活用の促進を図ります。
- ⑧ 市のホームページで文化財資料の公開・活用を行うデジタル資料館の新たなコンテンツ作成等の充実に努め、市民にわかりやすく、広く周知します。
- ⑨ 重要文化財「石川県御経塚遺跡出土品」の公開展示や文化財資料展示について充実に努めます。
- ⑩ 無形文化財指定に向けた獅子舞や野菜神輿等の調査を行っていきます。